

# 私たちの未来と税金

春江中学校3年 上野 結陽

私たちの生活は税金に支えられています。私たち生徒は、税金がなくなってしまうと、学校へは行けませんし、たくさんのことを学ぶことができなくなってしまいます。私たちは未来の日本を素敵なものにしていくために、投資を受けているのです。

中学生では一人あたり約 84 万円もの税金が使われていると知りました。とても大きな金額に驚きました。例えば、教育費の補助金、机やイスなどの備品、教科書、給食費、校舎の建設などに使われています。私の住む地域の学校も、今度、給食費が無償化されることになりました。私は将来を背負う私たちのために、たくさん税金が使われているとわかって、知らないうちにたくさんの人々に支えられていたんだと気がつきました。体育館に冷房がついていることも、毎日学校で勉強することも、全て当たり前だと思っていました。でも、それは当たり前ではなくて、感謝しなければいけないことなんだと、気がつきました。

毎日、学校に行って、友達と勉強する日々に嫌気がさすことがよくあります。なぜ学校に行かなくてはいけないのだろう、めんどくさいなと思っていました。ですが、たくさんの人々から集まった税金によって自分の学校生活が支えられていると思うと、たくさんの人々に応援されているような気がします。今の日本を形作ってくれている人たちから、私たちはたくさんの希望を向けられているのだと思います。そんな人たちの気持ちに応えたいと思うようになりました。そのためにも、真面目に授業を受けて、たくさん学んで知識を深めようと思いました。私は今の日本よりも素敵な、誇りをもって住める日本を、大人になったら作る一員に絶対なります。

これからの学校生活を送るにあたって、私は感謝を忘れないようにしたいです。特に、毎日の掃除の時間を大切にしていこうと思いました。なぜなら、毎日当たり前のように勉強する校舎も税金で建設されているからです。そんな校舎の税金を出してくれた人々、建設してくれた人々に感謝する時間が掃除です。校舎はたくさんの人々からのプレゼントだと私は思いました。そのプレゼントを毎日、大切にしたいです。直接お礼を言えない分、丁寧に掃除をしようと決めました。

今回、私が当たり前だと思っていた学校生活が、実はたくさんの人々によって支えられていると気がつくことができました。私は将来も税金のありがたみを感じて生きていきます。